サバエバル学習ツアー
Sabaeval (Survival at Sabae) Tour

京都大学
環境科学センター
2018年1月13、14日

グループ3
左 徐国畅 Guochang Xu
（中国四川）
中 李国英 Guoying Li
（中国山东）
右 孟琦 Qi Meng
（中国黑龙江）

大雪の中でも出発！

First lesson Heavy Snow blocked our way

電車の中の私達

途中でしばらく立ち往生したが、雪景色にハマってお菓子を食べて喋って楽しかったです！！！

神明宮、旧瓜生家住宅

Event 1 - God brightness palace and Archaeological site

旧瓜生住宅は神明宮の敷地内にあるため、まず神明宮を入って、そして手を合わせて、写真を撮って、関係者のおじさんが話しかけられ、神明宮と旧瓜生住宅についてご紹介していただき、次の目的地のまなべの館までの行き方（電車）も教えていただきました！

立ち往生二回目
Heavy Snow blocked local train again

大雪で一部の電車が運休になってしまって、どの電車を乗るかと困っている時、一緒に電車を待っている女性の方に助けられました。無事に電車に乗って余談する時にそのお姉さんは20年前中国へ留学したことがあると分かって、中国語で話したらとても上手でした。

まなべの館

Event 2 - Museum Manabe, Sabae

まなべの館1階

猋「ヒョウ」と読み、犬の走るさまの意を表す。疾く去るさま、つむじかぜ、葦の穂ともある。2018年は「犬とし」ので犬と関係がある作品が展示されている。また、墨で描かれた作品もあります。

まなべの館2階

2階はまなべの部屋、近松の部屋と考古学の部屋があります。江戸時代の武士の暮らしや元禄三大文豪の一人近松門左衛門の生い立ちや福井県で出土された青銅器と土器について展示されました。

（2、3階での撮影は禁止されたため、ホームページにご覧になってください https://www.city.sabae.fukui.jp/kosodate_kyoiku/manabenoyakata/josetsuten/manabe-josetsuten.html）

まなべの館3階

3階は郷土作家の久里洋二と西山真一の作品が展示されました。

久里洋二（鯖江市まなべの館名誉館長）
こどもの心をもったユーモアの巨匠

西山真一
命の躍動と胎動を描いた巨匠

17年ぶりの大雪
これ！氷河？

Second lesson
“Icy river” hiking

天気予報は確認しなかったので靴がびしょびしょに濡れちゃって、寒かったです！

天気の確認と雪グッズの用意は必ずやってください！

囲炉裏のある伝統的な木造住宅で泊まって良かったです。

囲炉裏

パーティーと温泉

Event 3 - Dirking party and spring

バスをみんなで救い出そう！

Third lesson
Bus pushing

バスを雪の中から救い出して河和田コミュニティセンターへ移動

漆器体験
蒔絵と沈金

Event 4 –
lacquerware experience

Moukiの作品　沈金
家族の属相の兎、馬、猿、蛇。

Guochang Xuの作品　沈金
自分と彼女のイラスト。

Guoying Li の作品　蒔絵
兎がすきです。「茕茕白兔，东走西顾」という詩を思い出して嬉しかった。

餅まき
Event 5 – Mochi maki

敷山神社に着き、餅まきが始まります。賑やかで、餅をたくさん拾って楽しかったです。
餅に当たられて痛かったので帽子や手袋の用意がおすすめです。

京都へ戻り、一緒に晩御飯！
乾杯！
生きて帰りました！この二日間、いろいろと勉強になって、いろいろなイベンドを楽しんで、皆さんの顔に疲れが出ていますが、満足でした。

ありがとうございました！